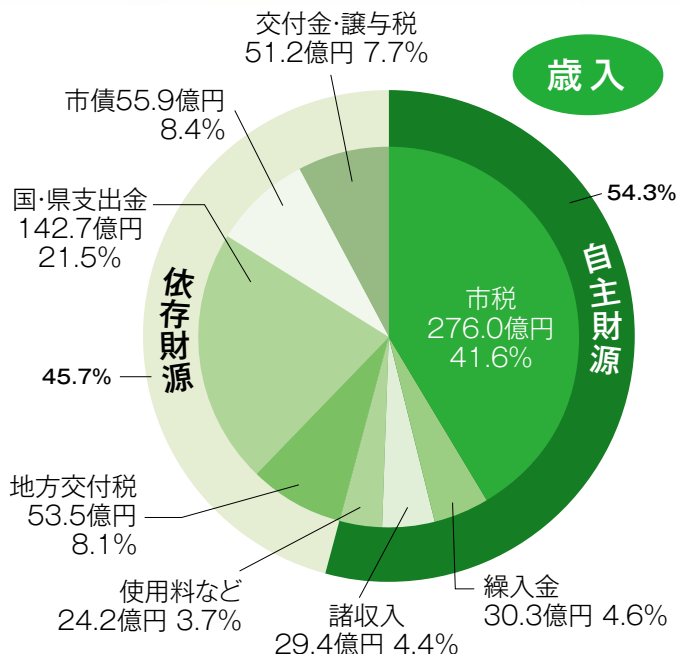
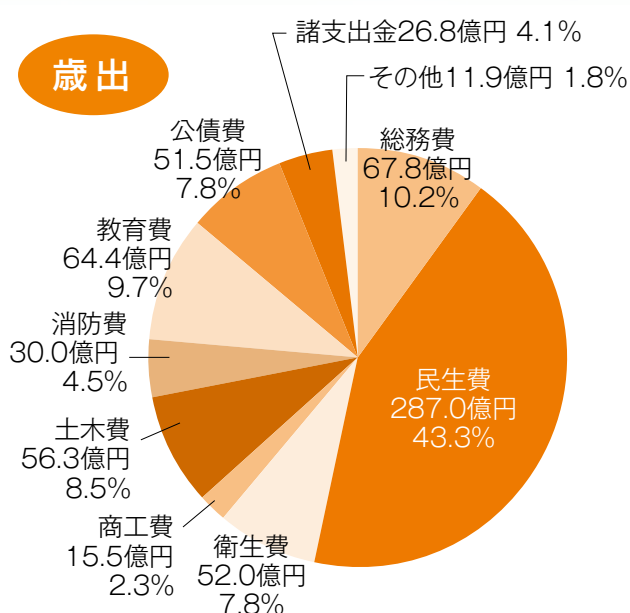


過去最大の予算で諸課題に対応

一般会計・特別会計・企業会計 総額1,168億8,233.9万円

3年度一般会計予算

663億2,000万円 (前年度比+3.1%)



※小数点第2位以下は四捨五入しており、必ずしも合計は一致しません。

主な事業



八幡地区まちづくり整備事業

8億227万5千円

名鉄八幡駅周辺地区における大規模商業施設の立地に伴う渋滞緩和対策・交通安全対策等のために、道路改良工事等を実施。



給食費減免事業

1億5,865万9千円

子育て世帯の経済的負担の軽減を図り、子育てを支援するため、保育所等に通う児童の給食費を一部減免。



赤塚山公園整備事業

2億7,476万3千円

令和5年度の開園30周年に向けて、さらに施設の魅力を向上させるため、賑わいゾーンを中心に再整備を実施。

その他の会計

特別会計

会計名	3年度当初 (前年度比)
豊川西部土地地区画整理事業	2億1,450万円 (△2.3%)
豊川駅東土地地区画整理事業	2億8,830万円 (△0.5%)
公共駐車場事業	1億2,360万円 (△46.7%)
国民健康保険	150億8,700万円 (△0.9%)
後期高齢者医療	29億4,770万円 (+2.8%)
土地取得	2億9,300万円 (0%)
一宮財産区管理事業	90万円 (+12.5%)
赤坂財産区管理事業	270万円 (△3.6%)
長沢財産区管理事業	350万円 (△5.4%)
萩財産区管理事業	810万円 (△3.6%)
計	189億6,930万円 (△0.9%)

企業会計

会計名	3年度当初 (前年度比)
水道事業	50億3,838.7万円 (+1.6%)
下水道事業	76億4,249.7万円 (+1.8%)
病院事業	189億1,215.5万円 (△1.3%)
計	315億9,303.9万円 (△0.1%)



3年度一般会計予算を可決!

予算特別委員会

一般会計予算案に対する各会派の総括質疑

ここが聞きたい! 3年度予算

【問】 3年度予算の認識は。

【答】 コロナ禍での感染拡大防止と経済活動の段階的引き上げとの両立に重点を置きつつ、重点施策である第6次総合計画やマニフェスト

工程計画の着実な推進と諸課題への対応のため、積極的な編成を行った。過去最大の予算規模だが、市民ニーズや市長マニフェストの実現に向け、様々な課題に積極的に取り組むとともに、「元氣なとよかわ」の維持に資する予算である。

【問】 企業誘致や雇用創出への取り組みは。

【答】 安心で満足できる暮らしを続けるため、定住・交流人口の増加や雇用創出による人口増を目指すことは大変重要な課題で、コロナ禍でも積極的に推進する。定住促進施策としては、土地区画整理事業や拠

点駅を生かしたまちづくりを推進している。

【問】 新型コロナウイルス感染症対策の取り組みは。

【答】 公共施設における感染拡大防止対策をはじめ、救急医療体制の確保、一時生活支援事業の増額、中小企業者への信用保証料補助等の増額、GIGAスクール構想の円滑な環境整備に向けたICT教育支援員の増員など、多くの事業費を計上した。

【問】 基金を積むより、市民や事業者などの救済に充てる考えは。

【答】 新型コロナウイルス感染症対策や経済対策など、状況に応じて様々な事業が補正予算で計上されると思うが、必要となる財源は、補正予算計上時の留保財源や財政調整基金等を活用することになる。

本会議 討論

原案可決

3年度一般会計予算

反対

医療、暮らし等に対する抜本的な支援を行うべき

・新型コロナウイルス対策がほとんど見られず、経済対策優先で、住民の命や健康が後回しになっている。イオンモール誘致のための道路整備をコロナ禍でも粛々と進めるやり方は、イオンモールの都合に合わせた市政運営である。法人税減税等を元に戻し、所得の再配分機能を発揮させ、高齢者にも若い世代にも必要なサービスが行き渡るようにすべきである。市が行うべきは医療、暮らしなどに対する抜本的な支援であり、反対する。

・設楽ダムを負担金等について、ダムの完成時には市の水需要は下降する見通しであり、需要の見込めない新規利水のダムよりも、現在の施設更新に税金を投入すべきであり、反対する。

・市ではシテイマラソンなど様々な種目の大会が開催され、市民体育大会は役目を十分に果たした。スポーツ推進員の負担軽減のためにも中止を考慮すべきであり、反対する。

賛成

諸課題に適切に対応するための予算である

大型商業施設の建設が予定される八幡駅周辺地区における渋滞緩和などの基盤整備等、活力あるまちづくりが推進され、豊川公園におけるテニスコートやこども広場の整備など、賑わいの創出に取り組んでいる。防災対策では、防災行政無線の更新などの災害に強いまちづくりが進められ、子育て支援では、子育て応援金の給付等の実施、高齢者福祉では、フレイル対策として関係部署が連携し、支援体制が整えられている。また、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策や、中小企業者等に対する支援など、市民の命や暮らしを守る取り組みにも対応している。歳入では、有利な市債の厳選等により後年負担に配慮し、基金の積極的かつ有効な活用や特定財源の確保に努め、着実な事業の進捗が図られるよう取り組んでいる。市民ニーズを踏まえ、諸課題に適切に対応した予算であり、賛成する。

※会派別賛否の状況については、7、8ページの議決状況の一覧でご確認ください。